耐震ブレース工法（防振タイプ）

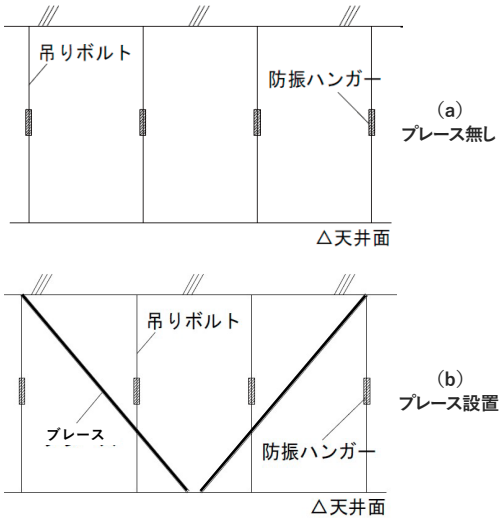
特定天井非対応
（株）桐井製作所共同開発品

耐震 ＋ 防振機能を持った耐震ブレース工法

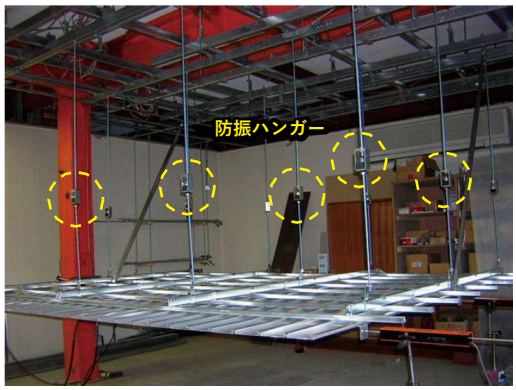
開発経緯

- 建築物の吊り天井や吊り下げ設備の防振対策としては、吊り型防振ゴムを吊りボルトの中間に設置する工法が一般的（図a）

- 構造体への剛接合を目的としたブレースを設置した場合、防振効果が阻害される可能性がある（図b）



吊り型防振ゴム（防振ハンガー）設置例



【従来の防振天井】

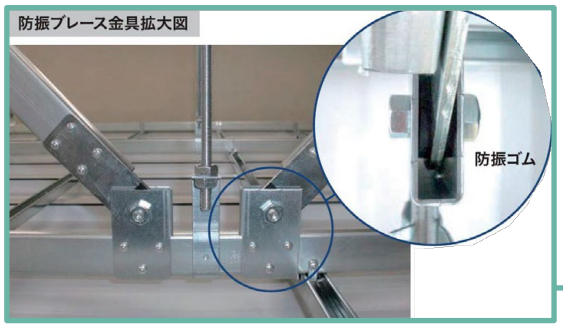
特長

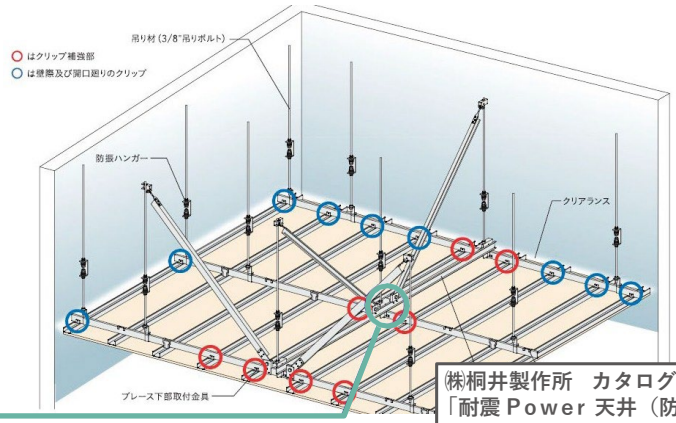
- 防振効果（※）

	従来型防振部材	プレース（防振ブレース金具使用）	プレース（通常仕様）
振動伝達率（天井面/スラブ面）	0.70	1.10	2.16

※荒井智一ほか：日本建築学会大会梗概（2009年）「金属パネル天井の耐震性に関する研究（その6）防振天井の振動絶縁効果現場測定」より

- 耐力・剛性 ⇒ **耐力、剛性は耐震ブレース工法と同程度**





㈱桐井製作所　カタログ
「耐震 Power 天井（防振タイプ）」
より抜粋

採用実績

- マンション、ホテルで多数実績あり

適用条件

- 許容荷重：2500N／一対、取付角度：30～60度

知的財産権

- 特許第5132456号

お問い合わせ

お問い合わせ・製造・販売　株式会社桐井製作所　開発部　03-4345-6005

資料提供：東日本旅客鉄道株式会社